

平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成27年11月6日

上場会社名 株式会社コラボス 上場取引所 東
 コード番号 3908 URL http://www.collabos.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 茂木 貴雄
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 青本 真人 TEL 03(5623)3391
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	773	—	113	—	114	—	75	—
27年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	107.84	92.47
27年3月期第2四半期	—	—

(注) 平成27年3月期第3四半期期間より四半期財務諸表を作成しているため、平成27年3月期第2四半期の数値及び前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	1,283	1,007	76.4
27年3月期	1,203	901	74.9

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 980百万円 27年3月期 901百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
 平成28年3月期の配当予想につきましては、現在未定です。

3. 平成28年3月期の業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,630	10.0	220	6.9	215	22.4	137	28.0	197.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期2Q	702,400株	27年3月期	694,000株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	－株	27年3月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期2Q	698,960株	27年3月期2Q	－株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載される業績見通し等の将来に関する記述は、当社の現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、中国をはじめとする新興国・資源国経済の景気減速による世界貿易の停滞の影響から、輸出が力強さを欠く状況が続いており、それを受け、企業においては幅広い業種での在庫調整の動きが重なり、鉱工業生産でも引き続き弱含みの状況となっております。また、輸出の伸び悩みや在庫調整の長期化から、設備投資については、一部が先送りされている可能性もあり、先行きは持ち直しが見込まれるものの、ペースは緩慢となる見通しであります。一方、企業収益においては、原油安や為替相場の動きに支えられ、経常利益は改善を維持、それに伴う人手不足感が根強いことも背景となり、雇用環境においても改善が続いていく見通しであり、景気の自律的拡大は持続し、緩やかなペースでの回復が見込まれております。

当社が属するクラウドサービス市場においては、「クラウドファースト」がより一層浸透しており、システム構築の際にはクラウドが常に念頭に置かれ、高い信頼性や耐障害性を求められるような場面においてもクラウドへの移行が見られるなど、今後も持続的な需要と促進が見込まれており、2019年度の市場規模は約2兆円を超えるとも言われております。

このような環境下、当社はコールセンター向けにクラウドサービスを提供しておりますが、その中でも主力商品である@nyplace（IPネットワークを利用した電話交換機機能をクラウドで提供するインバウンド向けのサービス）を中心に売上高は順調に推移しており、COLLABOS PHONE（インターネット環境を利用したソフトフォンをベースとした電話交換機機能をクラウドで提供するサービス）やCOLLABOS CRM（コールセンター業務に特化したインバウンド向け顧客管理システムをクラウドで提供するサービス）、COLLABOS CRM Outbound Edition（コールセンター業務に特化したアウトバウンド向け顧客管理システムをクラウドで提供するサービス）等のユーザビリティの高い商品もそれぞれ順調に推移した結果、売上高は@nyplace関連で593,070千円、COLLABOS PHONEで52,136千円、COLLABOS CRMで91,606千円、COLLABOS CRM Outbound Editionで19,556千円、その他売上高で16,763千円となり、第2四半期累計期間で売上高は773,132千円となりました。営業利益は113,598千円、経常利益は114,368千円、四半期純利益は75,377千円となりました。

なお、当社は前第2四半期累計期間については四半期財務諸表を作成していないため、前年同四半期累計期間との比較分析は行っておりません。

当第2四半期累計期間における売上高、売上原価、販売費及び一般管理費の状況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 売上高

当第2四半期累計期間は、@nyplace関連のコールセンター席数は順調に推移し、411席増加し5,114席となり売上高は593,070千円となりました。COLLABOS PHONEのチャンネル数（同時回線接続数）は61チャンネル増加し652チャンネルとなり売上高は52,136千円となりました。COLLABOS CRMの利用ID数は128ID増加し2,470IDとなり売上高は91,606千円、COLLABOS CRM Outbound Editionの利用ID数は19ID減少し520IDとなり売上高は19,556千円となりました。その他売上高は16,763千円となり、第2四半期累計期間で売上高は773,132千円となりました。

② 売上原価

当第2四半期累計期間の売上原価は、440,021千円となりました。主に各サービスそれぞれで回線料、ネットワーク機器等設備の保守費用、ホスティング費用、顧客毎のコールフロー設定等の作業費用、ソフトウェア及びハードウェアの償却費用等が発生し、@nyplace関連で297,646千円、COLLABOS PHONEで63,672千円、COLLABOS CRM（含む、Outbound Edition）で68,549千円となりました。

③ 販売費及び一般管理費

当第2四半期累計期間の販売費及び一般管理費は、219,512千円となりました。主な内訳は、人件費131,159千円、業務委託費、広告宣伝費、家賃等の人件費以外の経費88,353千円であります。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末における総資産は、前年度末に比べて80,027千円増加し、1,283,203千円となりました。主な要因は、売掛金の回収および新株予約権の発行に伴う現金及び預金の増加であります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債は、前年度末に比べて25,519千円減少し、275,972千円となりました。主な要因は、未払法人税等の支払いによる減少、借入金返済による減少によるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産の部は、前年度末に比べて105,547千円増加し、1,007,231千円となりました。主な要因は、利益剰余金が75,377千円増加、ストックオプションの発行および行使により新株予約権が26,602千円増加、資本金及び資本剰余金が合計して3,567千円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物の期末残高は、前事業年度末と比べて3,801千円減少し、640,870千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動の結果得られた資金は、114,234千円となりました。この主な要因は、税引前当期純利益114,308千円の計上に加え、減価償却費の計上61,448千円、売上債権の減少要因があった一方で、法人税等の支払額50,743千円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動の結果支出した資金は、125,257千円となりました。この主な要因は、定期預金の預入による支出が100,000千円あったことに加え、COLLABOS CRM、COLLABOS PHONEのバージョンアップや新機能追加に伴う無形固定資産の取得による支出が23,975千円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動の結果得られた資金は、7,222千円となりました。この主な要因は、長期借入金の返済による支出が8,328千円、リース債務の支払いによる支出が14,619千円あった一方で、新株予約権の発行による収入が26,650千円あったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期第2四半期累計期間の業績予想につきましては、平成27年5月8日に公表いたしました業績予想と差異が発生しております。詳細につきましては、本日(平成27年11月6日)公表いたしました「平成28年3月期第2四半期累計期間の業績予想と実績との差異に関するお知らせ」をご参照ください。

また、平成28年3月期通期業績予想につきましては、平成27年5月8日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	644,671	740,870
売掛金	180,540	169,383
前払費用	7,260	12,891
繰延税金資産	6,646	6,646
その他	—	83
貸倒引当金	—	△152
流動資産合計	839,118	929,722
固定資産		
有形固定資産		
建物	4,078	4,078
減価償却累計額	△3,915	△3,935
建物(純額)	163	142
工具、器具及び備品	336,163	335,964
減価償却累計額	△285,524	△294,360
工具、器具及び備品(純額)	50,639	41,603
リース資産	130,033	156,657
減価償却累計額	△37,856	△51,953
リース資産(純額)	92,176	104,703
有形固定資産合計	142,979	146,450
無形固定資産		
ソフトウェア	105,895	72,649
ソフトウェア仮勘定	53,319	72,516
その他	414	414
無形固定資産合計	159,630	145,581
投資その他の資産		
差入保証金	25,949	25,949
破産更生債権等	547	121
繰延税金資産	35,499	35,499
貸倒引当金	△547	△121
投資その他の資産合計	61,448	61,448
固定資産合計	364,058	353,481
資産合計	1,203,176	1,283,203

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	45,214	39,527
短期借入金	30,000	30,000
1年内返済予定の長期借入金	13,912	5,584
リース債務	26,288	31,541
未払金	19,207	17,743
未払費用	3,393	4,114
未払法人税等	50,429	38,618
未払消費税等	25,781	14,157
前受金	2,081	2,040
賞与引当金	8,000	8,500
役員賞与引当金	2,000	—
その他	2,109	2,165
流動負債合計	228,418	193,993
固定負債		
リース債務	73,073	81,978
固定負債合計	73,073	81,978
負債合計	301,491	275,972
純資産の部		
株主資本		
資本金	298,450	300,234
資本剰余金	278,450	280,234
利益剰余金	324,402	399,779
株主資本合計	901,303	980,247
新株予約権	381	26,984
純資産合計	901,684	1,007,231
負債純資産合計	1,203,176	1,283,203

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	773,132
売上原価	440,021
売上総利益	333,111
販売費及び一般管理費	219,512
営業利益	113,598
営業外収益	
受取利息	58
受取手数料	38
違約金収入	1,920
営業外収益合計	2,017
営業外費用	
支払利息	1,248
営業外費用合計	1,248
経常利益	114,368
特別損失	
固定資産除却損	59
特別損失合計	59
税引前四半期純利益	114,308
法人税等	38,931
四半期純利益	75,377

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当第2四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	114,308
減価償却費	61,448
固定資産除却損	59
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△273
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,500
受取利息及び受取配当金	△58
支払利息	1,248
売上債権の増減額(△は増加)	11,582
仕入債務の増減額(△は減少)	△5,687
その他	△14,946
小計	166,182
利息及び配当金の受取額	58
利息の支払額	△1,263
法人税等の支払額	△50,743
営業活動によるキャッシュ・フロー	114,234
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△1,282
無形固定資産の取得による支出	△23,975
定期預金の預入による支出	△100,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△125,257
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△8,328
株式の発行による収入	3,520
リース債務の返済による支出	△14,619
新株予約権の発行による収入	26,650
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,222
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,801
現金及び現金同等物の期首残高	644,671
現金及び現金同等物の四半期末残高	640,870

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。